

南魚沼 子育て支援センター「ほのぼの」

気軽に立ち寄り 利用者3倍

大型商業施設内に移転1年

「買い物ついで」と好評

南魚沼市余川の大型ショッピングセンター内にある同市子育て支援センター「ほのぼの」が開業1年となる21日、記念イベントを開く。開設から1カ月間で3万3千人を超す利用があり、別の場所にあった旧施設に比べ月平均で利用者数は約3倍の伸びだ。大型商業施設内というアクセスの良さが利用者に歓迎されているとみられる。



開業1周年を迎える南魚沼市子育て支援センター「ほのぼの」=17日、南魚沼市余川のイオン六日町店

21日、記念イベント

「ほのぼの」は同市坂戸にあった市子育て支援センターが手狭となったため、余川のイオン六日町店内に移転し、2017年の12月21日にオープンした。遊び場スペースは旧施設の1・7倍となる約350平方メートルに拡充した。

0歳児からの乳幼児と保護者向けの「ほのぼの広場」と、小学校3年生までの子どもと保護者が一緒に遊べる「ふれ愛広場」に分かれている。高さ約2・5メートルのクライミングウォールや跳躍器具、波形平均台といった遊具を備えている。

子育て支援事業に取り組む「ミニハウス子育て総研」(大阪府)から「子どもを遊ばせたい安全安心な施設」として全国初の認定も受けた。利用には登録が必要だが、利用料は無料。利用者カードを提示すると、イオン店内の買い物で割引などの各種サービスが受け

られるのも好評だ。オープンから11月末までの利用者数は3万3899人。月平均約3000人の利用は旧施設に比べ約3倍の伸びだ。

ショッピングセンター内という立地の良さと、買い物ついでに立ち寄る人も親子も多い。十日町市や魚沼市など市外の利用者も少なくない。「子どもがお父さんや祖父母と一緒に遊ぶ姿が旧施設に比べて目立つ。屋内施設のため、雨や雪の日には利用が多い」「ほのぼのの担当者」という。

双子の姉妹を連れ、週2、3回利用するという同市の主婦、小田理恵さん(39)は「広くて遊具もたくさん。ここに来れば子育ての悩みを、ほかのお母さんや職員に相談もできる」と利便性の高さを話す。

1周年イベントは21日午前11時から、市の観光キャラクター「こめつぐ君」のほか、サンタクロースも加わり、ミニプレゼントを参加者に配る。問い合わせは、南魚沼市子育て支援センター「ほのぼの」、025(772)7754。